

環境保全データ

タツタ電線(株)大阪地区、京都工場、タツタテクニカルセンターにおける環境保全データは以下の通りです。

◇大阪地区

1.省エネルギー(2015年度データ)

| 目的 | 目標 | 実績 |
|------------------------------|-----------|--------|
| 省エネルギーの推進 | 前年度比：1%削減 | 2.0%減少 |
| 地球温暖化防止(CO ₂ 排出量) | 前年度比：1%削減 | 0.6%減少 |

2. 大気および水質関係(2015年度データ)

| 施設名 | 項目 | 単位 | 法規制値 | 実測値(最大値) |
|--------------------|----------|-------------------|-------------|----------|
| 大気 天然ガス ボイラー | NOx濃度 | ppm | 150以下 | 43 |
| | NOx排出量 | kg | — | 940 |
| | ばいじん | g/Nm ³ | 0.05以下 | 0.002 |
| 水質 下水道 | pH(注) | — | 5.7を超え8.7未満 | 6.9~8.6 |
| | BOD | mg/リットル | 300未満 | 59 |
| | COD | mg/リットル | — | 25 |
| | n-ヘキサン抽出 | mg/リットル | 5以下 | 3 |

(注)pHは範囲を示す ※水質規制値は、東大阪市下水道条例による

3.PRTR調査結果(2015年度データ)

| 政令番号 | 物質名 | 取扱量(t) | 排出量(t) | 移動量(t) |
|---------|------------------------|--------|--------|--------|
| 第1種-31 | アンチモン及びその化合物 | 31 | 0 | 0.85 |
| 第1種-255 | デカブロモジフェニルエーテル | 15 | 0 | 0.41 |
| 第1種-305 | 鉛化合物 | 5.9 | 0 | 0.16 |
| 第1種-355 | DOP(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)) | 970 | 0 | 26 |

上記以外に、キシレン(政令番号:第1種-80)、トルエン(政令番号:第1種-300)などを使用していますが取扱量・排出量・移動量は、いずれも1t未満でした。

◇京都工場

1.省エネルギー(2015年度データ)

| 目的 | 目標 | 実績 |
|------------------------------|-----------|---------|
| 省エネルギーの推進 | 前年度比：1%削減 | 11.7%削減 |
| 地球温暖化防止(CO ₂ 排出量) | 前年度比：1%削減 | 10.2%削減 |

2. 水質関係(2015年度データ)

| 施設名 | 項目 | 単位 | 法規制値 | 実測値(最大値) |
|-----------|----------|---------|-------------|----------|
| 水質 下水道 | pH | — | 5.7を超え8.7未満 | 7.1 |
| | COD | mg/リットル | 300以下 | 7 |
| | n-ヘキサン抽出 | mg/リットル | 5.0以下 | 1未満 |

※京都工場には、ボイラーを設置しておらず、NOxなどの測定監視は実施していません。

3.PRTR調査結果(2015年度データ)

| 政令番号 | 物質名 | 取扱量(t) | 排出量(t) | 移動量(t) |
|---------|------|--------|--------|--------|
| 第1種-300 | トルエン | 97 | 0 | 2.1 |

上記以外に、フッ化水素(政令番号:第1種374)などを使用していますが取扱量・排出量・移動量は、いずれも1t未満でした。

◇タツタテクニカルセンター

1.省エネルギー(2015年度データ)

| 目的 | 目標 | 実績 |
|------------------------------|-----------|--------|
| 省エネルギーの推進 | 前年度比：1%削減 | 2.9%増加 |
| 地球温暖化防止(CO ₂ 排出量) | 前年度比：1%削減 | 1.3%増加 |

2. 水質関係(2015年度データ)

| 施設名 | 項目 | 単位 | 法規制値 | 実測値(最大値) |
|-----------|----------|---------|---------|----------|
| 水質 下水道 | pH | — | 5を超え9未満 | 7.9~8.4 |
| | BOD | mg/リットル | 3,000未満 | 160 |
| | n-ヘキサン抽出 | mg/リットル | 5.0以下 | 1未満 |

※タツタテクニカルセンターでは、ボイラーを設置しておらず、NOxなどの測定監視は実施していません。

3.PRTR調査結果(2015年度データ)

| 政令番号 | 物質名 | 取扱量(t) | 排出量(t) | 移動量(t) |
|---------|------|--------|--------|--------|
| 第1種-300 | トルエン | 110 | 0 | 2.0 |

上記以外に、DOP(フタル酸ビス(2-エチルヘキシル))(政令番号:第1種-355)などを使用していますが取扱量・排出量・移動量は、いずれも1t未満でした。

※仙台工場は、年度後半の2015年11月からの稼働のため、2017年度版より掲載します

タツタ環境分析の取り組み

水質・大気・ダイオキシン…

多彩な分析技術を駆使して、環境を見つめ守ります

(株)タツタ環境分析センターは、環境負荷物質を分析技術の視点で見つめ、それらの削減に貢献しています。

■ダイオキシン類分析

ダイオキシン類は、極めて毒性の強い有機化合物です。それらの分析には、極微量分析に対応した精度管理システムと高い技術力が要求されます。弊社では、2014年に自動前処理装置の導入や分析機器の更新を行い、最短納期3日での分析を実現しています。

■作業環境測定

労働安全衛生法等の法規制の対象となる有害物質を製造・取扱う屋内作業場では、定期的な作業環境の測定と評価および結果に応じた適切な改善が必要とされます。最近、規制対象物質に加えられたインジウム化合物、エチルベンゼンをはじめ、ナフタレン、リフラクトリー・セラミックファイバー(RCF)にも対応可能です。

■微量PCB分析

2027年3月を期限とするPCB処理において、微量PCBを含有する電気機器類は、数量が多く、国の認定による無害化処理が追いついていない状況にあります。弊社は微量PCB分析への対応を図るとともに、微量PCB汚染機器浄化における環境調査や浄化後の判定試験を実施しています。

■その他

法令に基づく規制物質(アスベスト、RoHS規制物質など)に対する分析はもとより新規規制物質に対しても自社分析が可能になるよう積極的に技術検討を行い、人の健康を守るための評価項目を増やしています。

■土壌汚染調査

工場跡地等の再開発、土地売買等において、「土壌汚染対策法」に基づく調査が義務付けられています。弊社は、「指定調査機関」の認定を受け、汚染物質の濃度、分布等の正確なデータの取得および汚染状況の評価を行い、土地の有効利用の一端を担っています。



◇ヘッドスペースサンプラー付ガスクロマトグラフ



◇GC-FID(水素炎イオン化型検出器付ガスクロマトグラフ)



◇ICP発光分光分析装置
(誘導結合プラズマ発光分光分析装置)



◇ダイオキシン類自動前処理装置